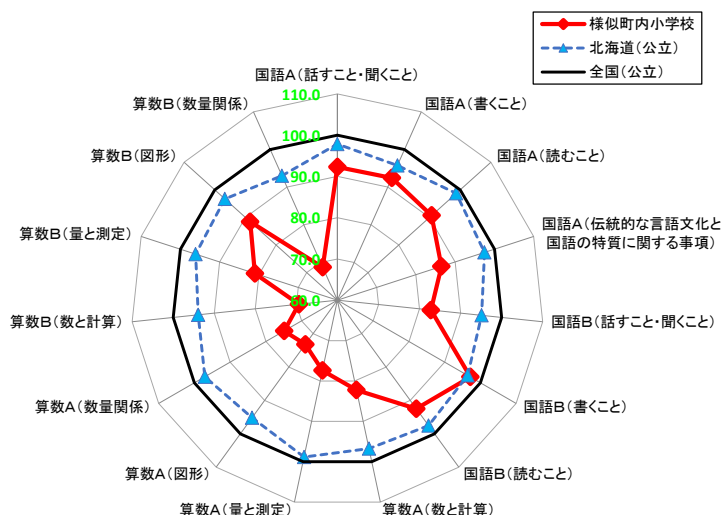


■ 様似町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:26名)

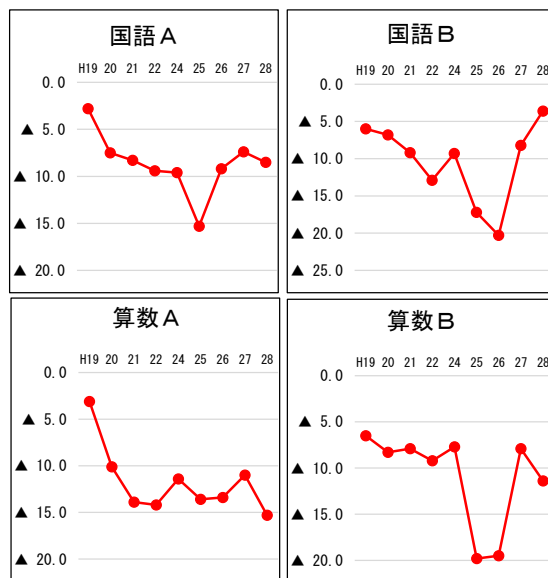
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

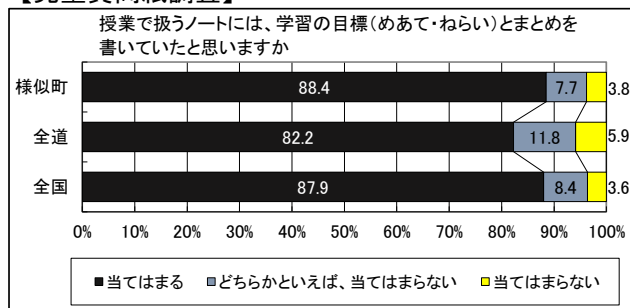


【平均正答率の全国との差の推移】

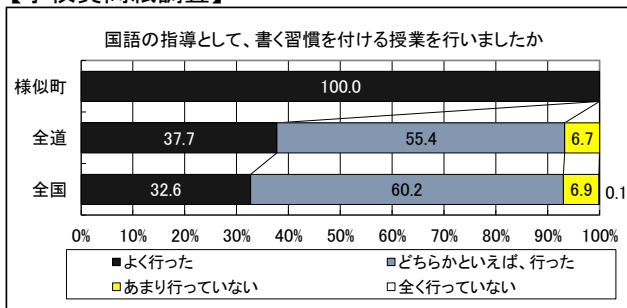


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは、前年度と比較して、全国の平均正答率との差が縮まっている。 ○ 国語Bでは、「書くこと」で、全道を上回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で、全道平均に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を積極的に行ったことにより、国語Bの「書くこと」で、全道を上回ったと考えられる。 ○ 授業改善推進チーム教員を中心とした日常の授業改善を推進したことにより、問題解決的な学習の充実や学習規律の確立が図られ、「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行った。	

【様似町の学力向上策】

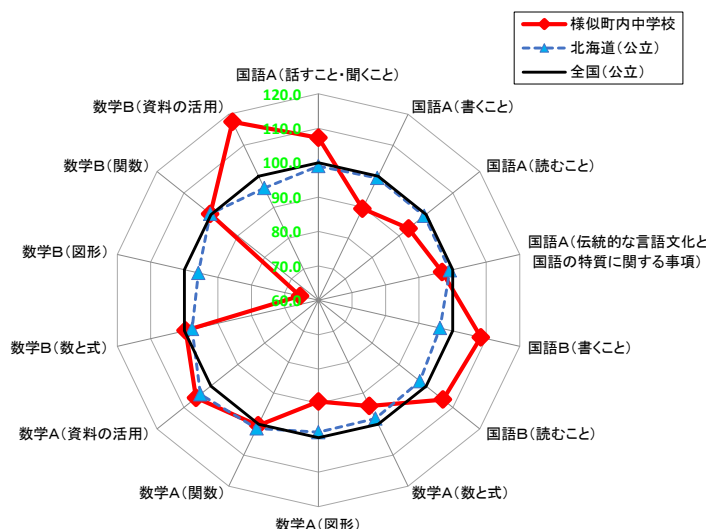
- ◎ 授業改善推進チーム教員を中心とした日常の授業改善
- ◎ 町独自の臨時採用教員を活用した習熟度別学習指導やチーム・ティーチングによる個に応じた学習指導の充実
- ◎ 読書活動の充実を目指した学校連携図書システムの活用
- ◎ 小中一貫・連携教育を踏まえた中学校との交流授業の実施

■ 様似町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:39名)

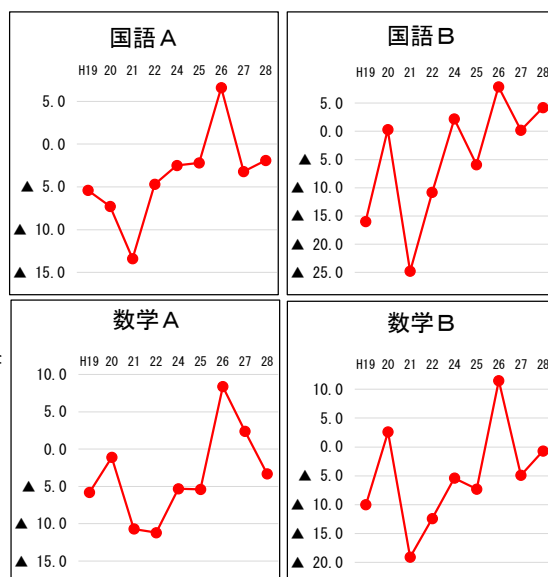
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

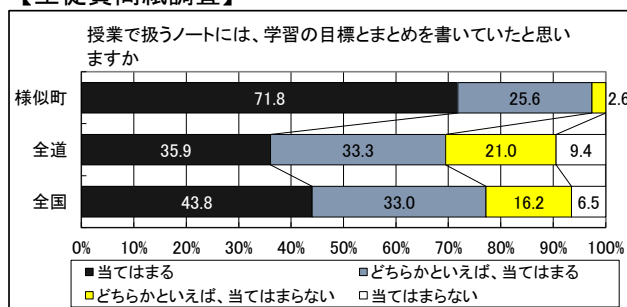


【平均正答率の全国との差の推移】

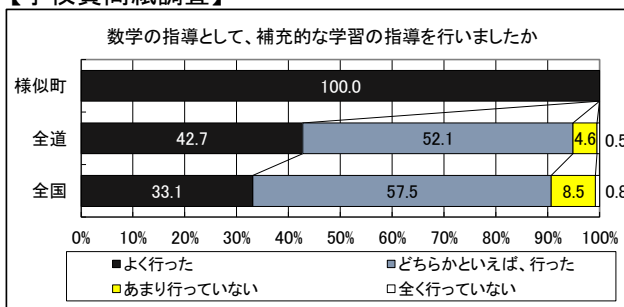


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、Bでは、「書くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、「関数」で、全国を上回っており、「資料の活用」で、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を積極的にに行ったことにより、学習内容の定着が図られ、数学A・Bの「関数」で、全国を、「資料の活用」で、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 学習の目標とまとめを明確にした問題解決型の学習過程の充実を図ったことにより、日常の授業改善が促進され、国語A・Bで、前年度と比較して、全国との差が縮まったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	

【様似町の学力向上策】

- ◎ 町独自の臨時採用教員を活用した習熟度別学習指導やチーム・ティーチングによる個に応じた学習指導の充実
- ◎ 読書活動の充実を目指した学校連携図書システムの活用
- ◎ 小中一貫・連携教育を踏まえた小学校との交流授業の実施